

令和 **7** 年度 年間授業計画 教科 **国語** 科目 **言語文化**

教科: **国語** 科目: **言語文化** 単位数: **2** 単位

対象学年組: 第 **1** 学年

教科担当者:	A組 正治 知子 B組 石井 幸恵 C組 正治 知子 D組 正治 知子 E組 石井 幸恵 F組 石井 幸恵 G組 松井 和泉
使用教科書:	『高等学校 精選 言語文化』第一学習社

教科 **国語** の目標:

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 **言語文化** の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		話	書	読					
単元 1 古文の意義を考える 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力】 作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたり読書に親しみ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 「児のそら寝」「絵仏師良秀」宇治拾遺物語	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 読むことにおいて、作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	7	
	・教材 教科書等								
	・一人1台端末の活用(場面) デジタル便覧、インターネット								
	・指導事項 『羅生門』芥川龍之介								
	・教材 教科書等								
単元 2 小説の構造理解と表現上の工夫 【知識及び技能】 作品や文章の歴史的背景を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力】 異なる時代に成立した説話を読み比べ、それらと比較して論じたり、批評したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたり読書に親しみ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 『羅生門』芥川龍之介	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 作品の時代背景について調べ歴史的な背景を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 読むことにおいて、異なる時代に成立した説話を読み比べ、それらと比較して論じたり、批評したりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	5	
・教材 教科書等									
・一人1台端末の活用(場面) デジタル便覧、インターネット									
・指導事項									
・教材 教科書等									
1 学期 単元 3 随筆を楽しむ 【知識及び技能】 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力】 我が国の伝統や文化について書かれた解説や評論、随筆などを読み、我が国の言語文化について論述したり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたり読書に親しみ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 「はしたなきもの」『枕草子』清少納言	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 読むことにおいて、我が国の伝統や文化について書かれた解説や評論、随筆などを読み、我が国の言語文化について論述したり発表することとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	8	
・教材 教科書等									
・一人1台端末の活用(場面) デジタル便覧、インターネット									
・指導事項									
・教材 教科書等									
単元 4 近代の詩歌 【知識及び技能】 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力】 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料の良さを味わいを吟味して、表現したいことを明確にすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたり読書に親しみ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 『自分の感受性くらい』茨城のり子	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 書くことにおいて、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料の良さを味わいを吟味して、表現したいことを明確にすることとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	4	
・教材 教科書等									
・一人1台端末の活用(場面) デジタル便覧、インターネット									
・指導事項									
・教材 教科書等									
定期考査(第1学期中間考査)/返却と解説 定期考査(第1学期期末考査)/返却と解説					○	○		1	

令和 7 年度 年間授業計画 教科 国語 科目 言語文化

教科: 国語 科目: 言語文化 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年

教科担当者:	A組 正治 知子 B組 石井 幸恵 C組 正治 知子 D組 正治 知子 E組 石井 幸恵 F組 石井 幸恵 G組 松井 和泉
使用教科書:	『高等学校 精選 言語文化』第一学習社

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話 ・ 聞	書	読					
2 学 期	単元 5 漢文に親しむ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	古典の世界を楽しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。	「狐借虎威」戦国策				古典の世界を楽しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	異なる時代に成立した説話を読み比べ、それらと比較して論じたり、批評したりすることができる。	教科書等				読むことにおいて、異なる時代に成立した説話を読み比べ、それらと比較して論じたり、批評したりしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)				【学びに向かう力、人間性等】				
	言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたり読書に親しみ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	デジタル便覧、インターネット	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。							
	単元 6 古文の表現の工夫を考える	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解することができる。	「芥川」伊勢物語				本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に捉えることができる。	教科書等				読むことにおいて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に捉えることをしている。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】								
言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたり読書に親しみ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	デジタル便覧、インターネット	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。								
定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説						○	○			1
単元 7 我が国最初の日記文学における表現方法を考える	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6	
【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】					
我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにすることができる。	「門出」『土佐日記』紀貫之				我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにしている。					
【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】					
文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に捉えることができる。	教科書等				読むことにおいて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に捉えることをしている。					
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)				【学びに向かう力、人間性等】					
言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたり読書に親しみ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	デジタル便覧、インターネット	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。								
単元 8 孔子の思想に学ぶ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6	
【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】					
我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。	「論語」孔子				我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。					
【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】					
作品の成立した時代や背景の関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。	教科書等				読むことにおいて、作品の成立した時代や背景の関係を踏まえ、内容の解釈を深めることをしている。					
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)				【学びに向かう力、人間性等】					
言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたり読書に親しみ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	デジタル便覧、インターネット	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。								
定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説						○	○			1

